

E2(1962年入学) 有志のカニ旅行

2月18日～20日、教養時代のクラスメート6人で山陰海岸国立公園の七釜温泉（「夢千代日記」の舞台となった湯村温泉の隣）と城崎温泉に遊んだ。メンバーのうち、大阪枚方に住む吉村昭道君、名古屋の森川章君、関東在住の天下晃生君、津田昌宏君と私（熊倉道雄）の5人は、阪急三番街のバスターミナルに集合し、現地まで約3時間のバス旅行で現地に向かい、島根県安来からの但見靖啓君と合流した。

今回の旅行は、津田昌宏君の東大博士論文「アメリカの校長のリーダーシップ」の出版記念会を兼ねて、温泉とカニ料理で久方ぶりに旧交を温めよう企画されたものだった。

津田君は銀行員時代、米国で15年にも亘るといふ豊かな駐在経験の持ち主。また、米国の学校教育事情

にも詳しく、ビジネスと教育の両面における日米の差異に関して、強い問題意識の持ち主だったところから、仕事人生をリタイアした後は、還暦を目前に大学院進学を志す。以来、四半世紀に及ぶ研鑽を経て、このたび、大著の刊行という偉業を成し遂げられた。

米国では、日米貿易摩擦が深刻だった1980年代以降、このままではダメになるとの危機感から、教育改革運動が巻き起こる。生徒にとっての“本物の教育”とはどういうものなのかを追い求める努力が続いた。本書はこれを丹念に追う。初めて知ることの多い、大変興味深い米国の教育史である。

大部屋に戻れば、6人の雑魚寝！津田君の話やお互いの近況、内外情勢その他諸々、気兼ねなく語り合っ

た。語るほどに聴くほどに、懐かしい思い出がよみがえり、まるで、青春時代に戻ったかのような3日間だった。

企画段階から旅程宿泊先その他アレンジメントはすべて、現地事情に滅法明るい、名オーガナイザー吉村君にやっていただきました。心より感謝です。

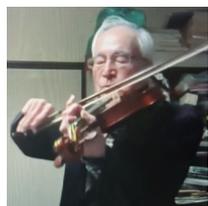
文責：熊倉 道雄（昭和41年卒）



野澤正徳先生

九十歳 サクセスフル・エイジング 御祝いの会

九十歳を迎えられた京都大学名誉教授 野澤正徳先生の御祝いの会「サクセスフル・エイジング お祝いの会」を2025(R.7)年3月9日、ゼミ同窓会を兼ね Zoom方式で開催しました。野澤ゼミナールの学部1期生をはじめ延べ40名が参加しました。当日は、2年前の「米寿の会」と同様、野澤正徳先生による歓迎演奏（ゴスペル「アメイジング・グレイス」とシューベルト「菩提樹」）で幕



を開け、参加者の近況報告と抱負が紹介されました。その後、野澤先生から「これからの方向」と題して、御講話がありました。

冒頭、先生は、「今も、世界と日本で、戦争や災害や事故により、不条理に命を奪われる多くの方々がおられることに、心からの追悼の思いを捧げます」と話され、その後、「90歳代の歩き方」として、「90歳代は老衰ではなく、アクティブ・エイジング！サクセスフル・エイジング！」というものであり、その健康法として、1)歩く（運動すること）、2)食事（奥様のおかげ）ーバランスよく、大食しないこと、そして、3)知的刺激ー音楽、すなわち、ピアノ、ヴァイオリン、合唱団の実践について語られました。

また、「高齢者の話しの場としてのー高齢者の 高齢者による 高齢者のための ホームページ（ウェブサイト）を立ち上げ、つれづれの感想や写真をのせること」を語られました。

関連して、「基本情報技術者」資格を取得することも目標に、その予備段階として「ITパスポート」資格試験を受けることを宣言されました。

会の最後には、先生の伴奏で、「紅萌ゆる」を合唱し、心を一つにしました。

先生は、「次回の 交流会は、10年後、2035年3月18日（日）ごろ 生成AI・ZOOM？を用いてしませんか？（笑）」と提案されました。

当日の参加者は、野澤先生の未来を見る視点と現在の生き方の結びつきを確認し、また、学生時代からの教え「自分に限界をつくることなく「挑戦する精神」、その大切さを改めて感じました。

先生は、その後、「ITパスポート」試験に合格し、その資格を取得されました。

幹事 中野 正巳（昭和45年卒）
庄司 正明（昭和52年卒）
藤江 昌嗣（昭和53年卒）
奥田 英生（昭和54年卒）

